

提案確認番号 04088299

メール送信受付完了

内閣官房、内閣法制局、人事院、内閣府、宮内庁、公正取引委員会、国家公安委員会・警察庁、防衛庁、金融庁、総務省、公害等調整委員会、法務省、外務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、会計検査院への送信依頼を受付ID：0000049767 で受付ました。

ご利用ありがとうございました。

以下本文

---

小泉総理をはじめ、各省庁に、次のような提案をします。

コストミニマムで効果的な行政、行政見直しをするための、今まで誰もが、あまり気がついていなかった、考え方と方法

(この提案には、説明図が入っており、それを、メール文だけでは送れませんので、提案本文は、

<http://dtn-wisdom.jp/J-Admini-Reformation/J-Admini-Reformation.pdf> で、見れるようにしてあります

はじめに

本提案は、いままで、当然の考え方ではあるが、誰もが、あまり、気がついていなかった「コストミニマムで、効果的な行政、行政見直しをするための考え方と方法」です。

この考え方を、関係者が当然のことと認識しますと、これまで、心の中ではよい、具体化した方がよい、と考えていても、なかなか実現できなかったことも、容易に実現できる考え方と行動に入れるようになります。

従来と現状の問題点

従来の行政改革の方法のうち、次のような問題が残されています。問題点とは次のようなものです。

従来の官庁では、新しい提案、方法を提案や選択をしようとすると、次のような問題が起こります。

即ち、行政監査、行政評価などの課程で「なぜ」の質問から始まる質問の形態があり、よいと考えられることでも、「なぜ」それを、うすうすにでも、気がついているのならば、「なぜ」もっと早くそれを、提案し実行に移しておかなかったのか、という質問を受けます。また、かつて提案をしたが、時期が熟せず没になった提案をもう一度、提案しにくい状況も発生しています。そのようなことを言われた場合、いままでの官庁組織の中では、組織に傷がつく、先輩に迷惑がかかる、自分にも傷がつくので、悩んだ結果、あたりさわりのない現状で行くか、現状を少々手直しをした程度で行く、という結論が多くの場合出されています。それも、2～3年ごとに担当者が入れ替わるので、官庁組織では、ますますその傾向が安全のために残ります。

解決の方法:

1. 図1に示す、『「なにをするため、どのようにして」と「なぜ」の質問の使い分け方』を理に適った考え方、言葉の使い分け方として、各省庁の幹部から職員末端に、至るまで、理解と再認識をします。(特に、相手をいじめる、困らせるという意図的な目的をもってしている場合、「なぜ」から始める、質問は有効である、という部分)

そして、新しい提案、改善がある場合には、「コストミニマムで効果的な行政をする」という課題のものの目的と手段のもの

とに、「組織が傷つくとか、先輩に迷惑がかかるとして、その検討に、逡巡した時間を浪費する」より、「いままでの方法と新しい方法と比べ、長期的な費用と効果がでる」の観点から、どちらが得かを、図2の『差の情報による意思決定・判断のメカニズム』の原理により、比較・判断します。

2. この準備として、関係者間でその課題のもとに図3に示すような目的と手段のダイアグラム（PMDといいます）を目で見える形で創っておくとなお効果があがるようになります。このときの必要条件として、「2～3案以上を創出または考えて、比較・評価して（注1）」どちらが得か、コストと目的・ニーズで比較をし判断するための、事前の調査・見積と比較・評価作業に少々手間と費用を要することを認める必要があります。（この見積にはコストばかりでなく、技術的な見積もり、効果などの見積もりを含みます）

時には、その内容の説明が、人が、なるほどと理解できるようになるまでは、手弁当作業の必要性を認識する必要があります。従来の経験では、その手間と調査・見積、比較評価作業の費用の投資効果は、10～30倍に達することが判っているので、この作業にあらかじめ、事前に予算を割り付け、強制的にその検討作業をさせるような仕組みを、できるだけ作っておくと、より効果的なその事前作業ができるようになります。

（注1）「2～3案以上を創出または考え、比較・評価する」という意味は、どの案にどのような効果があり、効果の視点からコストミニマムであるかを比較・評価できることとなります。

以上を行政各省庁に、インターネットを通じて、同時に提案します。そうすると、隣の省庁はどうしているかの、どうするのかに意見交換、議論が行われるようになると考えており、また、この考え方は理に適った筋道として、どなたも、理解していただける内容と考えていますので、いままでの問題点打開をするための考え方、方法の幅を広げることができると考え、提案する次第です。よろしくお願いします。